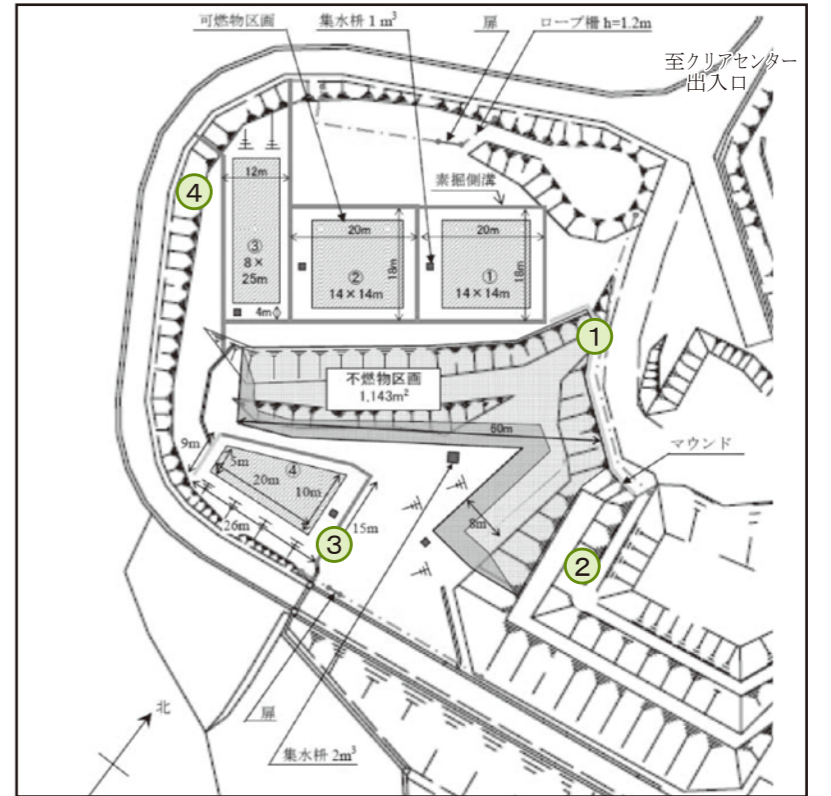


除染

美しい飯館村を取り戻すために

クリアセンターの空間線量率をお知らせします



国が平成23年度から村内で実施してきた除染により発生した土、枝、刈り取った草などの除染廃棄物は小宮地内のクリアセンター内に整備された仮置き場に一時保管されています。

保管方法は、除染廃棄物が入ったフレコンバッグを積み重ね、水が入ったり滲み出さないよう遮水シートで包み、

周囲を新しい土が入ったフレコンバッグで囲み、周辺に放射線が出ないように遮蔽して安心・安全を確保しています。

一時保管されている仮置き場の空間線量率は、定期的に測定しています。

クリアセンター内の測定地点の空間線量率は、表1のとおりです。

(表1) 飯館村クリアセンター敷地内の空間線量率の推移 (単位: μSV)

	H24.7月平均	8月平均	9月平均	10月平均	11月平均	12月平均	H25.1月平均	2月平均
①	1.58	2.42	2.24	2.34	2.34	2.19	1.70	1.75
②	3.16	3.09	2.94	2.95	2.88	2.83	1.95	2.03
③	2.23	2.28	2.14	2.26	2.36	2.48	1.81	2.20
④	1.97	1.91	1.80	1.88	1.78	1.87	1.39	1.26

須置地区、除染再開する

3/13

除染作業員説明会



国の委託を受けて村が発注している須置地区の除染工事について、4月から作業開始に先立ち、除染作業を行う作業員対象の説明会が開かれました。この説明会は、財団法人飯館村振興公社の主催で行われ、会場となった飯野出張所会議室には、作業員として登録した145人のうち、約120人が出席しました。説明会では、作業入場前の手続きなど、実際の除染の前に行う事務連絡や作業内容が担当から説明されました。

この日出席した作業員は「早く村に帰りたいので除染に協力したい」「地元の人が除染することでしっかりと除染を行うことができるのではないかと」と、除染作業を行うことへの意気込みを話していました。

須置地区の除染は、4月から始まっています。

3/29

飯館村までいな除染会議が「飯館村の除染に関する緊急提言書」を提出



▲審議を重ねてまとめた提言書が提出されました

実証データと、説明会等が出された村民の意見をもとに協議が行われ、提言書がまとめられました。

提言書の主な内容

- ・国は再除染の基準と、目標値・年間1ミリシーベルトを達成するまでの、具体的な期限と行程を示すこと。
- ・国は除染方法の問題点を検証し、より効果的な方法を示すこと。
- ・農地の除染は、村と事前協議した上で、生産環境の整備も同時に進めること。
- ・森林除染は、林業発展の施策と併せて長期的な方針を示すこと。
- ・国は既存のガイドラインにこだわらず村民に寄り添った除染方法を採用すること。
- ※その他不適切除染に対する防止策や、除染中の交通網の整理等についても提言をしています。

さまざまな実証データから、国が行う除染事業を検証している「飯館村までいな除染会議」が、「飯館村の除染に関する緊急提言書」をまとめ、村長あてに提出しました。提言書では、国の除染事業に村民目線の対応が欠如していることを指摘し、また検証結果から国の除染方法には再考の必要があるとし、国に対するさらなる働きかけを求めています。

提言書は飯野出張所で、菅家文左衛門委員長から村長に手渡されました。

こころのぽけっと

第二村民歌『までのの Rond』

作詞・小林金次郎、作曲・石河清両氏による飯館村民歌は、数多い市町村歌の中で日本一だとい書きました。東日本大震災後、全国で「花は 花は 咲く わたしは何を残しただろう」という曲が歌われています。原発事故で全村避難になった村にも、素晴らしい歌が生まれているのをご存知でしょうか。

題名は「ときよめぐれ」、副題が「までのの Rond」です。村の人々が、一日も早くまでのの里に帰れますように。汚染された自然が、元の顔を取り戻し、再び時が巡りますようにと、切なる祈りを込めて作られた曲です。この曲は福島市の三浦尚之氏の意向で作詞・伊武トーマ(福島市)、作曲・山根明季子(東京都)両氏によって作られた曲で、とても歌いやすく希望が持てる素晴らしい曲になっています。今年の2月に福島市音楽堂で村の小学4・5・6年生によって初めて歌われ、村民の心をいやしてくれました。

歌詞の一部を紹介します。

前を向いて歩いていこう／顔を上げて立ち止まってみよ
う／手に手を取って輪になって踊ろうという呼びかけで
始まり、道に花が咲いている／空に鳥が飛んでいる／あ
なたがいる／わたしがいる／めぐれめぐれ／ときよめ
ぐれ／名もなき花よ ひらけ／未来の子よ はばたけ／
ふるさとの道や までのの里に・・・です。

私は、村民歌とともにこの「までのの Rond」が多くの方に歌われることによって、村の再生の一助になるはずと確信しました。

村民歌が作られて47年目にして再び村に生まれたこの「までのの Rond」を、大切に大切にしていきたいものと強く思っています。

平成25年3月21日 飯館村長 菅野 典雄